



SATELLITE
DESIGN
CONTEST

第22回 衛星設計

The 22nd Satellite Design Contest

コンテスト

— 作品募集 —

<http://www.satcon.jp/>

参加登録受付
平成26年 4月1日(火)~5月30日(金)

作品提出締切
平成26年 7月11日(金)

最終審査会
平成26年 11月上旬 関東近郊

衛星設計コンテストは
平成25年度
宇宙開発利用大賞で
文部科学大臣賞を
受賞しました

主催..
日本機械学会、日本航空宇宙学会、電子情報通信学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、
日本天文学会、宇宙航空研究開発機構、
宇宙科学振興会、日本宇宙フォーラム

後援..
文部科学省、総務省(予定)

協賛..
株式会社エーディー、
株式会社テクノソルバ、日本無線協会

企画・運営..
衛星設計コンテスト実行委員会

宇宙のアイデア、
募集中。

第22回
衛星設計
The 22nd Satellite Design Contest
コンテスト
- 作品募集 -
<http://www.satcon.jp/>

本コンテストは、全国の大学院、大学、高等専門学校、専門学校、高等学校の学生・生徒を対象としており、宇宙に係わる基礎・応用研究を積極化する機会を提供し、併せて我が国の宇宙開発のすそ野の拡大に寄与しようとするものです。学生の自由な発想による小型衛星をはじめとする様々な宇宙ミッションのコンセプト、アイデア、設計構想等を全国から募集し、審査の上優秀な作品を表彰します。

本コンテストの審査委員会は、衛星・宇宙開発の第一線で活躍する専門家で構成されています。コンテストに応募した全ての作品に、審査委員会から評価点や改善すべき点を含めたアドバイスシートが発行されます。また、過去に応募し一次審査で落選した作品であっても、このアドバイスシート等を参考に検討を重ね改良した作品は、翌年以降再度応募することができます。

応募について

■ 募集部門：【設計の部】【アイデアの部】【ジュニアの部】

【設計の部】、【アイデアの部】は大学院生、大学生、高等専門学校生、専門学校生、高校生、【ジュニアの部】は高校生の、グループまたは個人を対象とします(グループの場合は指導教員を含んでも構いません。また、異なる学校からなる合同チームでも構いません)。ただし、1グループは10名以内と制限させていただきます。応募作品は、過去に応募し、一次審査(書類審査)で落選した作品であっても、審査過程で委員会から行なわれた指導やその後の発展等を加味し、再度検討を重ねて改良したものについては、新たな応募として認めます。参加登録は規定の登録様式を使用して、平成26年5月30日(金)までに行ってください。募集要項及び参加登録様式はコンテストホームページ (<http://www.satcon.jp/>) からダウンロードするか、氏名・学校名・送付先を記入の上メール等で下記事務局までお問合せ下さい。

■ 参加登録料：3,000円

スケジュール

参加登録受付

平成26年4月1日(火)
～5月30日(金)

作品提出締切

平成26年7月11日(金)必着

第1次審査結果発表

平成26年8月下旬～9月上旬

最終審査

平成26年11月上旬

開催場所：関東近郊(予定)

部門別設計条件

50kg 級以下の小型衛星設計

【設計の部】

① 制約条件：

- [質量] 50kg以下
- [形状] 打上げ時、50cm×50cm×50cmの空間に収まるようにして下さい。
- [打上げロケット] H-IIAロケット

- ② 対象：課題を設けず、軌道条件は自由とします。
- ③ 上記の制約条件をもとに衛星システム全体の設計を行ってください。

人工衛星を始めとした、幅広い宇宙利用ミッションアイデア

【アイデアの部】

- ① 制約条件：大きさや質量は、小型ロケット、H-IIAロケット、国際宇宙ステーションなどが利用できることを限度とします。
- ② 対象：人工衛星に限らず、打上げロケット機体の利用、弾道飛行ミッション、月・惑星探査、衛星搭載機器、国際宇宙ステーション等、幅広く宇宙を利用するものであれば、何でも結構です。
- ③ 詳細な設計は必要ありませんが、提案したアイデア実現のための技術的根拠を明らかにして下さい。

【ジュニアの部】

- ① 制約条件：大きさや質量は、小型ロケット、H-IIAロケット、国際宇宙ステーションなどが利用できることを限度とします。
- ② 対象：人工衛星に限らず、打上げロケット機体の利用、弾道飛行ミッション、月・惑星探査、衛星搭載機器、国際宇宙ステーション等、幅広く宇宙を利用できるものであれば、何でも結構です。

「衛星設計コンテスト」は衛星開発の登竜門

過去の衛星設計コンテストで受賞経験のある大学により開発された人工衛星が実際に宇宙へ多数打上げられています。現在も運用中である東京大学「PRISM」のほか、平成25年度にはJAXAとNASA等が共同で開発した「GPM主衛星」の相乗り衛星として、信州大学「ざんれい」、大阪府立大学「OPUSAT」、帝京大学「TeikyoSat-3」が打上げられました。また、平成26年度には日本大学「SPROUT」や東北大学「RISING-2」の打上げも予定されています。

本コンテストでは、「JAXA相乗り小型副衛星」制度の公募基準を満たすように設計され、かつ優秀であると認められた設計の部応募作品には、ご希望に応じて同制度への推薦状を発行いたします。皆さんの夢の実現に向けて、本コンテストが微力ながらお手伝いします。



東京大学の衛星「PRISM」



信州大学「ざんれい」開発の様子

第21回衛星設計コンテスト 最終審査会受賞作品

■ 設計大賞

National Cheng Kung University (台湾国立成功大学)
Atmosphere-Ionosphere Coupling Explorer (AICE)

■ アイデア大賞

立命館大学大学院
月面砂掘削機「月面潜行体1号」

■ ジュニア大賞

長崎県立長崎西高等学校
お家で簡単 無重力農園



ジュニア大賞 模型

申込・問い合わせ先

衛星設計コンテスト事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-1
新御茶ノ水アーバントリニティビル2階 (一財)日本宇宙フォーラム内

Tel:03-6206-4902 / Fax:03-5296-7010 / E-mail: satcon22@jsforum.or.jp

